

178号 2004年12月

## 連合神奈川女性委員会 第15 回定期総会 すべての女性がいきいきと 活動できる社会をめざし

### 大貫新委員長にバトンタッチ

連合神奈川女性委員会は12月17日、ワークピア横浜で第15回定期総会を開催。代議員ら88名が参加し、活動方針などを決定。役員選出では大貫新委員長が就任した。

総会は須藤(神教協)、小坂(UIゼンセン同盟)両議長の司会で進められた。あいさつに立った高橋委員長は「次世代育成支援対策推進法に対し、学習会を開催してきた。仕事と家庭の両立を困難にすることのない職場環境づくりを行うことが、私たち労働組合の役割だ。そのためには男女共同での取り組みが必要」と語った。活動経過報告の後、議案に移り、2005年に向けた活動方針では①職場(雇用)「雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保、働き続けられる環境整備を進めます」②社会(社会システム)「男女平等社会実現に向けての施策を推進します」③家庭・地域社会「男性も女性も仕事と生活を両立できる環境整備を進めます」④労働組合「女性の参画促進で労働組合の新しいニーズとその担い手づくりを進めます」⑤連合神奈川女性委員会「全ての女性労働者ととともに活動を展開します」以上5つを重点に活動を進めていくことが決定した。今総会で高橋委員長から大貫新委員長にバトンが渡され、今後女性運動の舵取りをしていくこととなった。

**大貫 佳久美**(おおぬき かぐみ)新委員長(神教協)

「自分の足もとを見つめ、自分たちの足もとを見つめ、そしたら少し、視線を上げて、横の皆さんたちとのつながりを大事にして、がんばっていきたいと思います」

### 次世代育成支援対策推進法で学習会

連合神奈川女性委員会は11月18日、大和市生涯学習センターで学習会を開催。50名が参加した。

学習会は講師に浅見美知子氏(神奈川県男女共同審議会委員)を迎え、「次世代育成支援対策推進法」をテーマに、全員の参加型で展開。男性の育児休業取得率や男女雇用平等法などについての知識を図る「知

ってた?知らない!ビンゴゲーム」や、実際に自分たちの行動計画などを班ごとにつくってみたりと、積極的な内容となった。会には青年委員会からの参加者も多く、男女混合で体験的な学習内容に、会場には笑顔と華やかな雰囲気の中、男女が実践的に学習するものとなった。

### 次世代育成支援対策推進法

少子化の急速な進行など、社会状況を踏まえ、次代を担う子どもたちの健やかな育成をめざし、環境整備を図るためのもの。次世代育成支援対策の基本理念を定め、国による行動計画策定指針、地方公共団体や事業主による行動計画の策定など、次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進するために必要な措置を講ずる、というもの。

### 連合神奈川青年委員会 活動方針を決定

## 時代のニーズに適合した活動の展開を

### 新委員長に久島氏が就任

連合神奈川青年委員会は12月10日、ワークピア横浜で第15回総会を開催し、むこう1年の活動方針と新役員を決定。全体で98名が参加した。

総会は竹田(情報労連)、服部

(電力総連)両議長のもとに進められ、あいさつに立った中村青年委員長は「今年は青年・女性共同で四役会議などを開催。ふれあい交流行事なども行った。連合神奈川青年活動の新しい第一歩となるものだ」「これまで青年委員会が築き上げてきた活動を、反省すべきは反省し、今の環境

にマッチした活動へどんどん改善し、さらに加速させていくために、今後とも努力していきたい」と語った。議案では2005年度活動方針として「組合員、市民の目に見える活動を目指し、若手組合員の視点から時代やニーズに適合した活動を推進、職場や産別組織の垣根を越えた多くの仲間との交流機会を提供して行く」とし、基本的な考え方として①学習会・意見交換の場を企画、②多くの仲間が交流できるイベントを開催、③次代を担う青年層組合役員の育成、④青年委員会の役割や任務などについて検討し議論を深めていく。の4つを柱に活動を展開していくことが決められた。今総会では役員選出が行われ、中村委員長は今大会をもって退任、久島新委員長(電力総連)が引き継ぐこととなった。

## 久島 勇

くしまいさむ

「7代目の委員長となりますが、青年委員会が今まで積み重ねてきた実績と築きあげた功績を思うと、責務の重さに緊張し、身の引き締まる思いがします。今後とも青年委員会の活動に対し、ご支援・ご協力をお願いします」

## 神奈川シニア連合 第13回総会 年金法改正案の抜本改革を 自主財源確立で論議

神奈川シニア連合は11月26日、ワークピア横浜で、第13回総会を開催。全体で128名が参加した。

総会は春田副会長の開会あいさつで幕を開け、主催者を代表してあいさつに立った福田会長は「高齢者が安心と信頼、心豊かに暮らせる社会をつくるために、社会保障制度の充実を重点課題としてこの一年間精力的に取り組んできた。しかし、小泉政権のもとで、社会保障制度は年々、後退を余儀なくされている」とし、先の国会で強行採決された年金課税強化、年金法改正案に対し「抜本改革をめざし、連合神奈川とともにたたかいを進めていく」と決意を語った。また、「次の解散総選挙では政権交代をしなければならない」とし、それに向け、組織強化や運動の拡大発展などが必要だと訴えた。総会には来賓として連合神奈川白石会長、県労福協真壁会長ら各界代表が出席、それぞれあいさつを行った。議案では活動方針などを決定したほか、『自主財源確立について』が提案され、会費の徴収などについて論議が行われた。活動方針は①組織強化拡大②政策要求実現③政策立案機能強化④社会保障制度確立⑤情報提供と交流活動促進⑥政治改革への選挙活動支援など6点を基本に、①組織活動の充実と発展強化、②関連団体との連携強化、③政策・制度要求の実現を具体的な取り組みとして活動を展開していく。

## 横浜・川崎市から政策回答横浜・川崎市から政策回答

12月1日・川崎市、2日・横浜市の日程で連合神奈川、横浜・川崎両地域連合に、それぞれ政策回答が行われた。横浜市は中田市長、川崎市は阿部市長が対応。回答書が白石会長に手交された。横浜・中田市長は「連合(神奈川)からの政策内容について、庁内で真摯に検討した」新潟中越地震について「横浜で地震があったら率直に言って不安、いざというときに機能する仕掛けを整理して

おく必要がある」と語った。川崎・阿部市長は「財政状況は厳しいが、雇用の改善、地域産業の活性化は重要課題。福祉、生活関連産業や羽田空港の神奈川口構想での産業の伸長と雇用拡大に努力したい」と語った。

労働局は21日、神奈川県からは22日に回答があった。

## 北方領土返還要求運動神奈川県民会議 望郷の思い胸に元島民が講話

連合神奈川白石会長が副会長をつとめる北方領土県民会議は、11月30日、神奈川県民ホールで第20回大会を開催。連合神奈川から68名が参加。

大会は新堀会長の主催者あいさつに続き、来賓として松沢知事、北方領土問題対策協会井上理事長らがあいさつ。北方四島のひとつ、択捉(えとろふ)島で生まれ育った山本昭平氏が『北方四

島はわたしたちの故郷』と題して講話を披露。島の気候風土、その暮らしぶりや今もつゝの望郷の思いなどを語った。続く第2部はノンフィクション作家の上坂冬子氏を講師に講演を受けた(講演内容は講師の意向により記載不可)。来年の「日口通交条約」150周年をにらみ、一日も早い領土問題の解決に向けた大会宣言を蓮見事務局次長が読み上げて採択。参加者全員で運動推進の新たな決意を誓い合った。

## 青年・女性委員会合同で開催 ふれあい交流 みかん狩りで笑顔の交流

連合神奈川青年委員会は女性委員会との合同開催として、11月23日、ふれあい交流行事を開催。三浦市鈴木農園に232名におよぶ参加者を集める大規模なものとなった。当日は朝から抜けるような青空、冬とは思えない暖かな陽射しの下、早朝から続々と参加者が会場を埋めた。毎年家族向けの企画として行われているこのふれあい交流行事。開催の趣旨・目的が同じなら、そのスケールメリットを最大限に生かそう、ということで、今年から女性委員会との共同開催となった。親子連れ、また家族そろっての参加者も多く、みかん狩り用のはさみが間に合わなくなる場面も。昼食は前年度のバーベキュー&餅つきからフランクフルト、豚汁、餅つきに変更になったが、その量も前年度の倍にふくらんでスタッフからはうれしい悲鳴が上がるほど。行楽日和も手伝って、大盛況の内に終了した。

## おくやみ

11月21日(日)、笠原双雄氏のご逝去されました。享年65歳。笠原氏は連合神奈川副事務局長、県労協事務局長などを歴任されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。